

市長施政方針

さっぽろ元気ビジョン

市民の力みなぎる文化と誇りあふれる街へ

市民自治が息づくまちづくり

この街に住んでいて良かったと思えるためには、集いと対話、行動を通じ、まちづくりに参加することが大切です。皆さんの創造力やエネルギーを結集させましょう。

情報提供と対話を徹底し、市民意見を市政に反映

区役所や連絡所などで、誰もが市のホームページの閲覧などができる体制を整え、定



市長記者会見で市政に関する情報を迅速に提供

併せて、まちづくりの理念や仕組みなどを定める自治基本条例の制定に向けた取り組みを進めます。また、政策評価に第三者による評価を導入するほか、障がいのある方の声を障がい者が聞く政策提言サポーター制度を設けます。



札幌市長
上田 文雄
うへだ ふみお



市民の皆さん、こんにちは。市長の上田文雄です。就任から二カ月。今後四年間に取り組み施策を、このほど「さっぽろ元気ビジョン」としてまとめました。その内容を紹介します。

平和と人権擁護、女性参画の実現に向けて

戦争に反対する立場を国の内外に示すとともに、障がいのある方や外国人などの人権を守り、差別を禁止するための取り組みを広げていきます。政策づくりを行う審議会などでは女性の比率40%以上実現を目指します。

連絡所を「まちづくりセンター」に改編



市内に85カ所ある連絡所を「まちづくりセンター（仮称）」に改編

区役所の権限を強化して、地域の実情に応じた対応ができるようにします。また、連絡所を「まちづくりセンター（仮称）」に改編。さまざまな立場の市民と、地域のまちづくりに意欲を持つ職員の集いの場とします。

「障がいのある人」に表記を改めます

「障害者」の「害」の漢字には、否定的な意味もあり、不快感を感じることがあると考えられます。そのため、市では、今後作成・更新する公用文や広報印刷物などで、「障がいのある人」「障がい者」などの表記に改めます。

なお、法令やこれに基づく機構、施設、計画、事業などの固有名称は従来通りとします。

詳細 行政部総務課 ☎(211) 2162、FAX(218) 5171